



E-4 (Version 1.02)

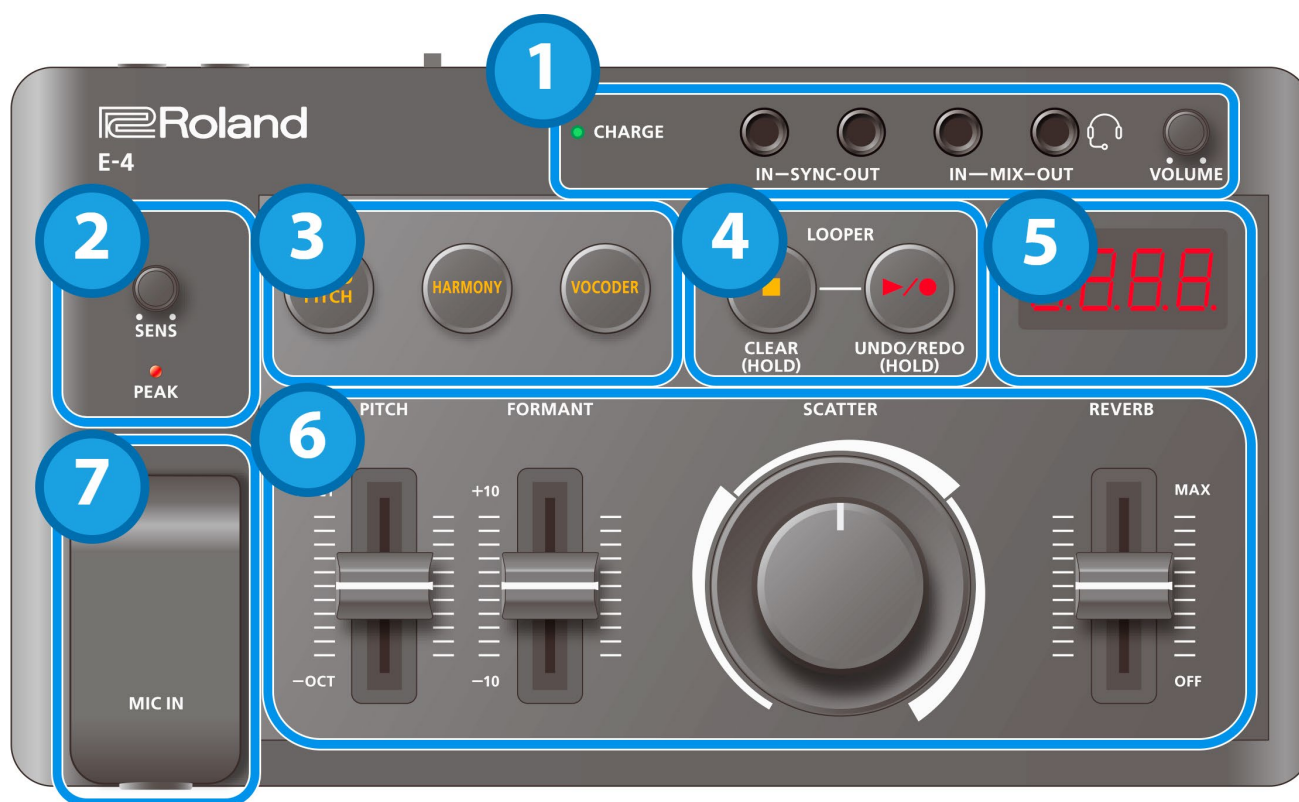
取扱説明書

目次

各部の名称とはたらき	3	録音した音声を先頭から再生し直す（リスタート） ...	31
トップ・パネル.....	3	入力をステップごとに入れ替える（SCATTER）	32
リア・パネル	6	残響音を加える（REVERB）	34
マイク入力の設定をする（MIC IN）	7	メニューの設定	36
ピッチを補正する（AUTO PITCH）	9	パソコンやモバイル機器と接続する	38
ハーモニーを付加する（HARMONY）	13	工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	40
ボコーダー・ボイスに変換する（VOCODER）	16	主な仕様.....	41
ルーパーの使いかた	20	シグナルフロー図	42
外部機器のマスターとしてルーパーを使う（内部クロックで使う）	21	MIDI インプリメンテーション・チャート	43
外部機器のクロックに同期してルーパーを使う	25		
クロックのタイミングを設定する	28		
録音した音声を消去する（クリア）	29		
オーバーダブを取り消す／元に戻す（アンドゥ／リドゥ）	30		

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1. 端子

操作子	説明
CHARGE インジケータ	USB 端子に給電されている場合 オレンジ（点灯）：充電中です。 緑（点灯）：充電が完了しました。 緑とオレンジ（点滅）：充電エラーが発生しました。お買い上げ店、またはローランド相談センターにお問い合わせください。 https://roland.cm/roland_support USB 端子に給電されていない場合 赤（点灯）：バッテリーの残量がわずかです。充電してください。 * 30 分以内に本体の電源が切れます。
SYNC IN 端子	外部機器からの同期信号を入力します。
SYNC OUT 端子	外部機器へ同期信号を出力します。
MIX IN 端子	オーディオ入力端子です。 接続した機器の音が、MIX OUT 端子から出力されます。

操作子	説明
MIX OUT/HEADSET 端子	オーディオ出力端子です。 ヘッドホンやヘッドセットを接続することができます。ヘッドセットを接続するときは、MIC IN としても使用できます。
[VOLUME] つまみ	MIX OUT 端子の音量を調節します。

- * SYNC IN/OUT 端子は「モノラル・ミニ・プラグ」のケーブルで接続してください。「ステレオ・ミニ・プラグ」のケーブルは使用しないでください。正しく動作しません。
- * SYNC OUT 端子にはオーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。
- * SYNC IN 端子に外部機器が接続された場合は、MIDI Clock Sync の設定にかかわらず、SYNC IN 端子に入力されたクロックに同期します。
- * MIX IN/OUT 端子は「ステレオ・ミニ・プラグ」のケーブルで接続してください。「モノラル・ミニ・プラグ」のケーブルは使用しないでください。正しく動作しません。
- * ヘッドセットは 3.5mm ミニ・プラグ（4 極）CTIA 方式のものに対応しています。

2. マイク操作

操作子	説明
[SENS] つまみ	マイク入力の感度を調節します。
PEAK インジケーター	マイクの入力レベルが大きすぎると点灯します。 時々点灯する程度に、[SENS] つまみで感度を調節します。

3. エフェクト・スイッチ

操作子	説明
[AUTO PITCH] ボタン	声のピッチを補正します。
[HARMONY] ボタン	声にハーモニーを加えます。
[VOCODER] ボタン	ボコーダー・ボイスに変えます。

4. LOOPER セクション

操作子	説明
【■】（停止）ボタン	録音した音声の再生を止めます。長押しで録音した音声を削除します。
【▶/●】（再生／録音）ボタン	録音の開始、録音した音声の再生をします。長押しで重ね録りの取り消し、やり直しをします。

- * 【■】（停止）ボタンを押しながら【▶/●】（再生／録音）ボタンを押すと、録音した音声を頭から再生し直します。

5. ディスプレイ

項目	説明
ディスプレイ	テンポを表示します。 SCATTER や MFX の周期に影響します。

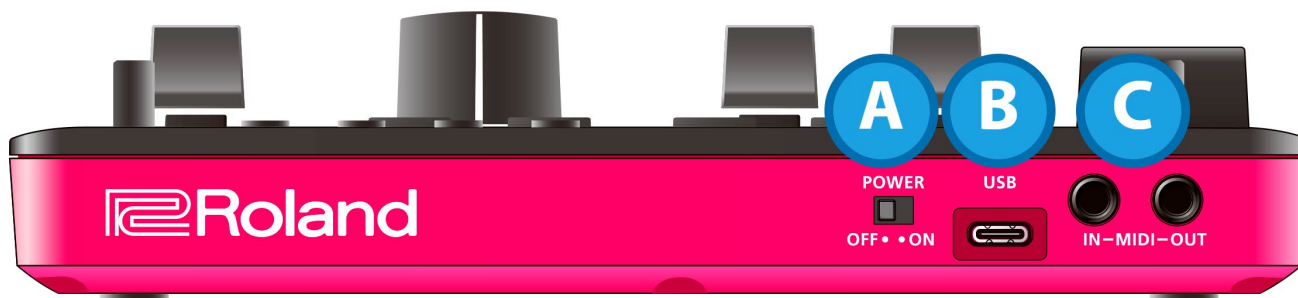
6. サウンド・コントロール

操作子	説明
[PITCH] スライダー	声のピッチを調節します。上下 1 オクターブの範囲で変化させることができます。
[FORMANT] スライダー	声のフォルマントを調節します。－（マイナス）にするほど男性的な声質に、＋（プラス）にするほど女性的な声質に変化します。
[SCATTER] ダイアル	スカッターの深さとタイプを調節します。上二桁が TYPE、下二桁が DEPTH です。
[REVERB] スライダー	リバーブ（残響）の量を調節します。

7. 端子

端子名	説明
MIC IN 端子	ダイナミック・マイクを接続します（アンバランス）。

リア・パネル



A. [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします。

B. USB 端子 (USB Type-C®)

市販の USB2.0 ケーブル (A-C タイプ／C-C タイプ) でパソコンに接続します。

USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。

* 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

C. MIDI IN／MIDI OUT 端子

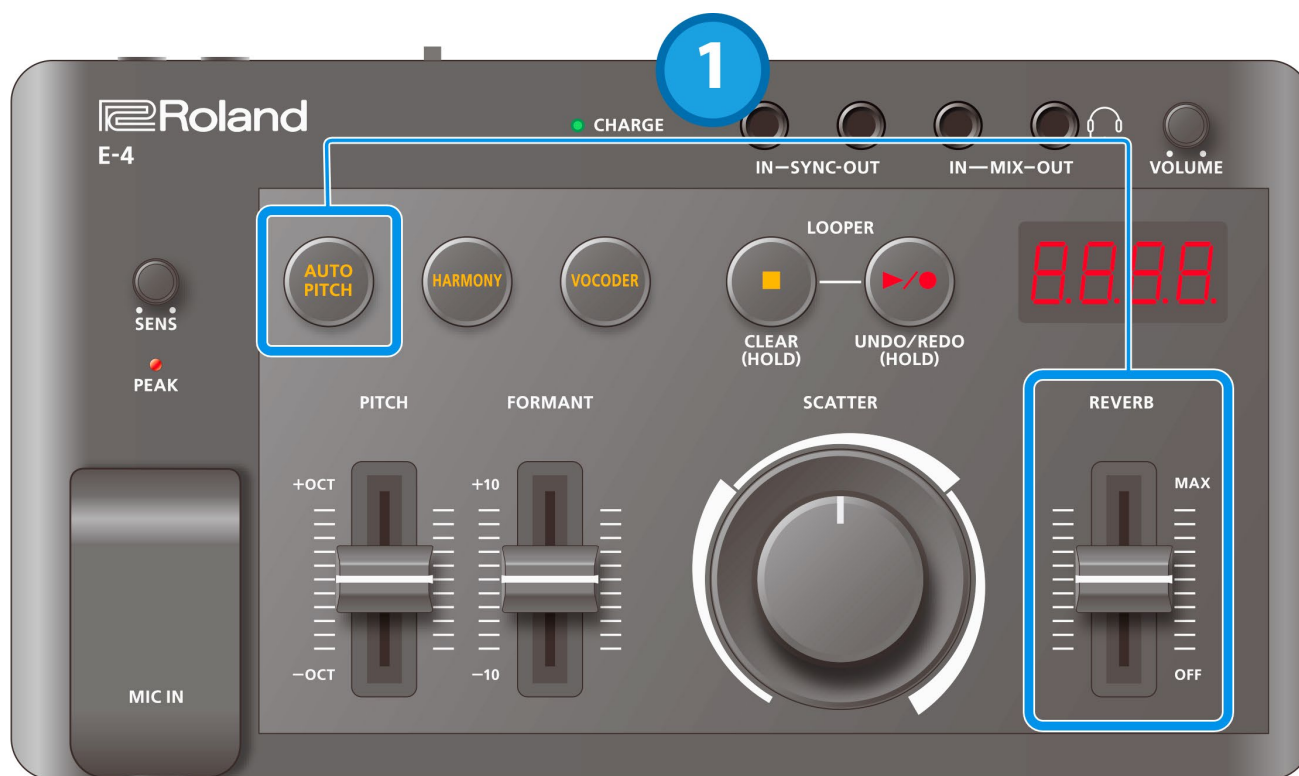
TRS/TRS コネクティング・ケーブル (別売：BCC-1-3535 または BCC-2-3535) または、TRS/MIDI コネクティング・ケーブル (別売：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35 または BMIDI-2-35) で外部 MIDI 機器に接続します。

市販の MIDI ケーブルで MIDI 機器を接続すると、本機と MIDI 機器を同期演奏できます。

* オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

マイク入力の設定をする (MIC IN)

誤発音を防ぐ (LOW CUT FILTER)



1. [AUTO PITCH] ボタンを押しながら [REVERB] スライダーを動かします。

設定値	説明
10、25、50、100	ロー・カット・フィルターの周波数を設定します。

ハウリングを抑える (NOISE GATE)



1. [HARMONY] ボタンを押しながら [REVERB] スライダーを動かします。

設定値	説明
OFF、-9、-18、-1nF	フロア・ノイズの抑圧量を設定します。

ピッチを補正する (AUTO PITCH)

声のピッチを補正します。



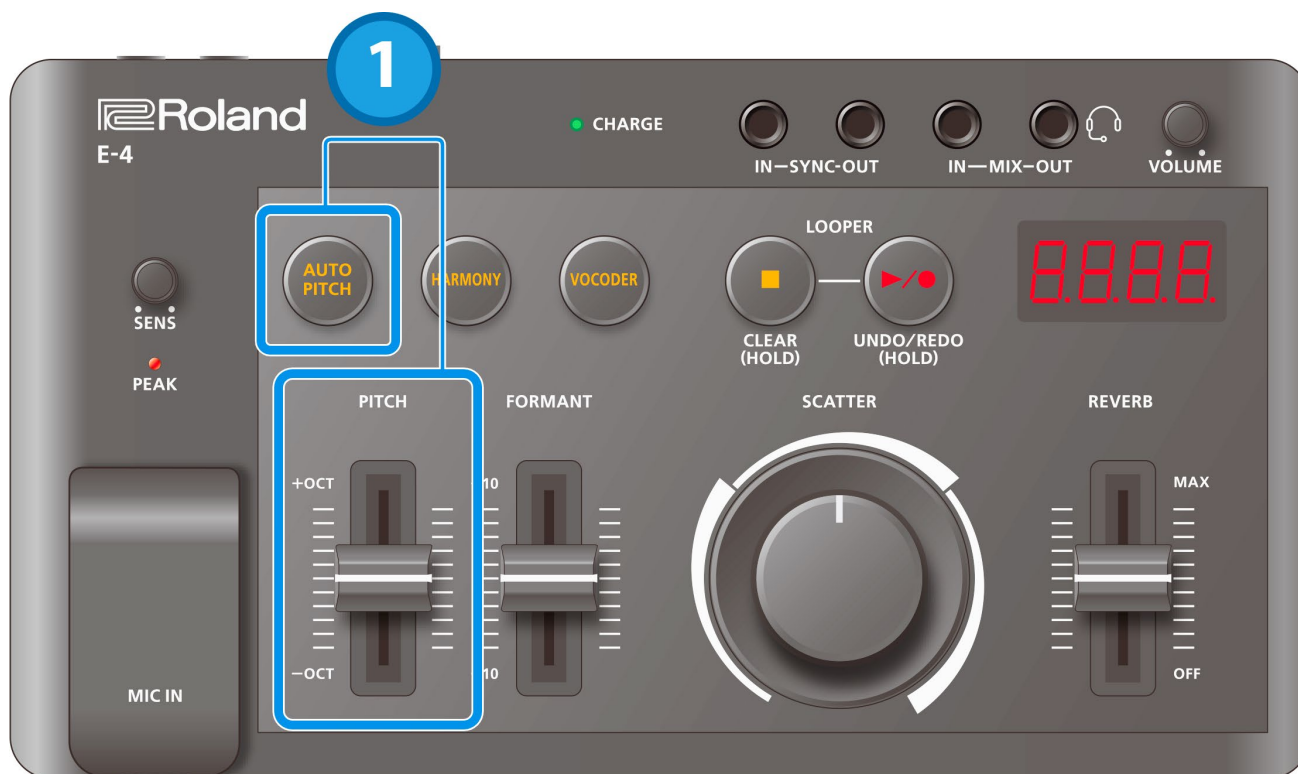
1. [AUTO PITCH] ボタンを押して点灯させます。

AUTO PITCH がオンになります。

ロボットがオンのときは点滅します。

声のピッチを固定する (ROBOT)

AUTO PITCH オン時の補正方法を設定します。



1. [AUTO PITCH] ボタンを押しながら [PITCH] スライダーを動かします。

Auto 以外を選ぶと、ロボットのような一定のピッチ（音の高さ）に固定された抑揚のない声に変化します。

設定値	説明
F -2	声のピッチを 2 オクターブ低くして固定します。
F -1	声のピッチを 1 オクターブ低くして固定します。
Auto (Auto)	声のピッチを KEY の値に応じて補正します。
Fix (Fix)	声のピッチを固定します。
F +1	声のピッチを 1 オクターブ高くして固定します。

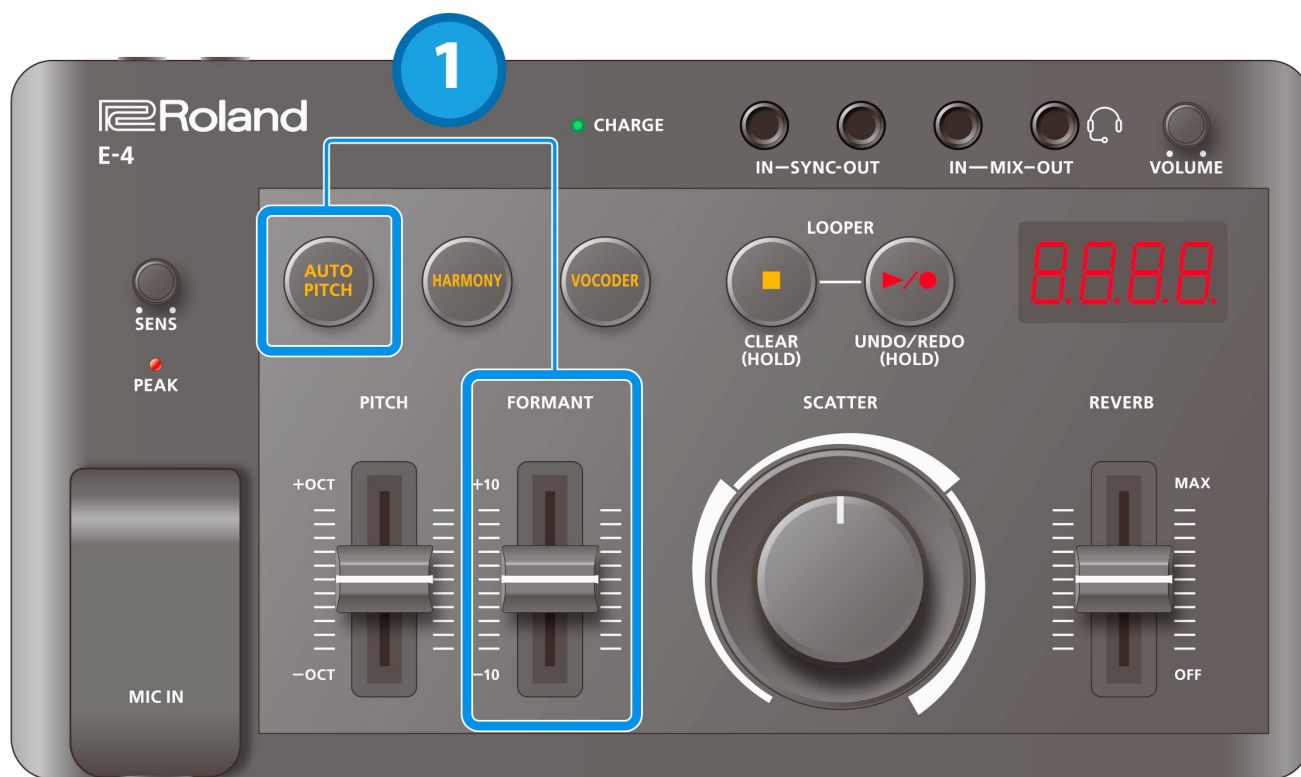
* 外部 MIDI を入力することでも任意の KEY に固定することができます。

➡ 外部機器でボコーダーを操作する (KEY IN) (P.19)

補正の深さを設定する (AUTO PITCH DEPTH)

AUTO PITCH オン時の、ピッチ補正の深さを設定します。

* 補正方法が Auto のときのみ有効です。



1. [AUTO PITCH] ボタンを押しながら [FORMANT] スライダーを動かします。

補正のキーとスケールを設定する (KEY、SCALE)

AUTO PITCH オン時のピッチ補正のキーとスケールを設定します。



1. [HARMONY] ボタンを押しながら [PITCH] スライダーを動かします。

補正方法が Auto のときは選んだスケールに補正し、Fix のときは選んだキーに声を固定します。

設定値	説明
$A \flat$ (Am) ~ $A \flat \flat$ (Abm)	選んだキーのマイナー・スケールを設定します。
Chr (Chromatic)	クロマチックを設定します。
A (A) ~ $A \flat$ (Ab)	選んだキーのメジャー・スケールを設定します。

ハーモニーを付加する (HARMONY)

声にハーモニーを加えます。



1. [HARMONY] ボタンを押して点灯させます。

HARMONY がオンになります。

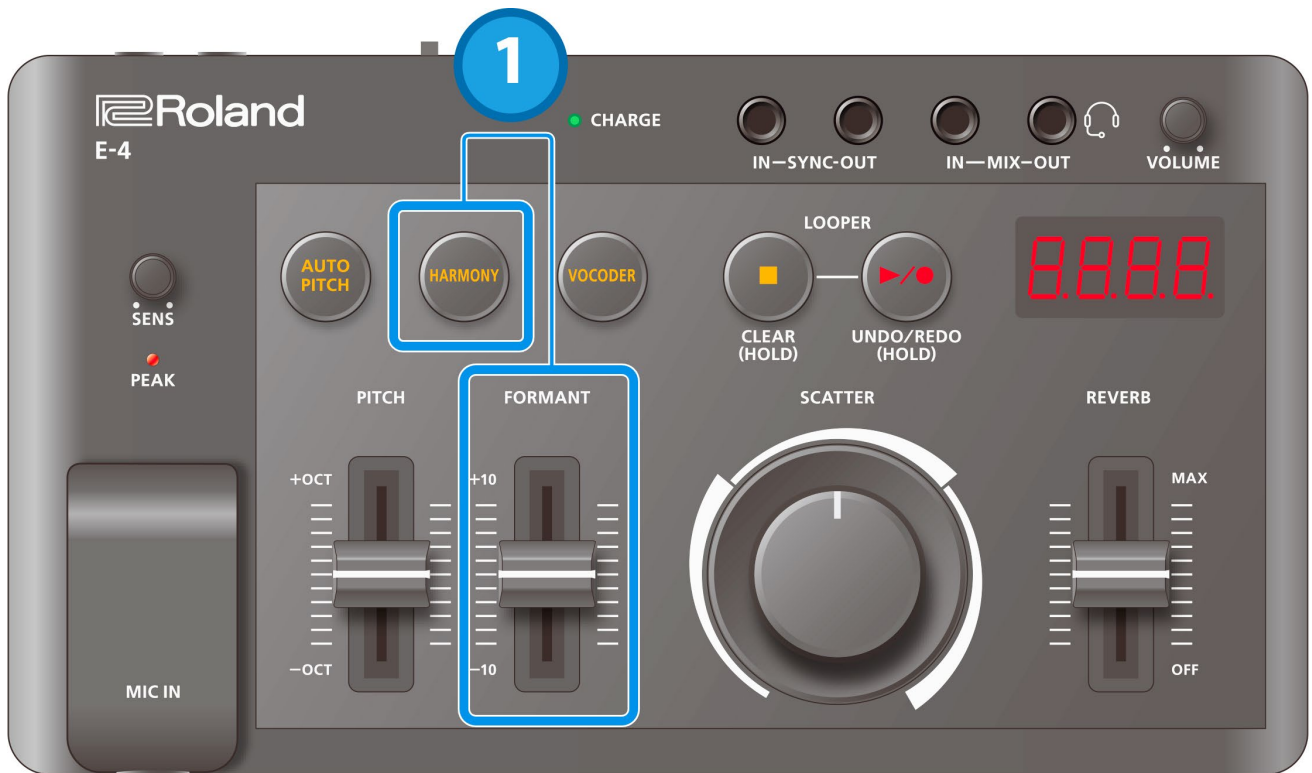
ハーモニーのキーとスケールを設定する (KEY、SCALE)



1. [HARMONY] ボタンを押しながら [PITCH] スライダーを動かします。

設定値	説明
$A \ \flat$ (Am) $\sim A \flat \flat$ (Abm)	選んだキーのマイナー・スケールを設定します。
Chromatic (Chromatic)	キーやスケールに依存せず、声の等倍でハーモニー構成します。
A (A) $\sim A \flat$ (Ab)	選んだキーのメジャー・スケールを設定します。

ハーモニーのタイプを設定する (HARMONY TYPE)



1. [HARMONY] ボタンを押しながら、[FORMANT] スライダーを動かします。

タイプごとの和音の構成は、以下のとおりです。

() 内はマイナー・スケール設定時の値です。

設定値	ボイス 2	ボイス 3	ボイス 4
<i>UdP5</i> (UpDownP5)	+12	-12	+7
<i>UPdn</i> (UpDown)	+12	-12	
<i>-Oct</i> (-Octave)	-12		
<i>Oct</i> (Octave)	+12		
<i>P5</i> (P5)	+7		
<i>3rd</i> (3rd)	+4 (+3)		
<i>5th</i> (5th)	+4 (+3)	+7	
<i>-5th</i> (-5th)	+4 (+3)	-5	
<i>7th</i> (7th)	+4 (+3)	+7	+11 (+10)
<i>-7th</i> (-7th)	+4 (+3)	+7	-1 (-2)

ボコーダー・ボイスに変換する (VOCODER)

入力音声をボコーダー・ボイスに変えます。

ボコーダーは内蔵のシンセサイザー（キャリア）と入力した音声（モジュレーター）を合成して効果を作るエフェクトです。

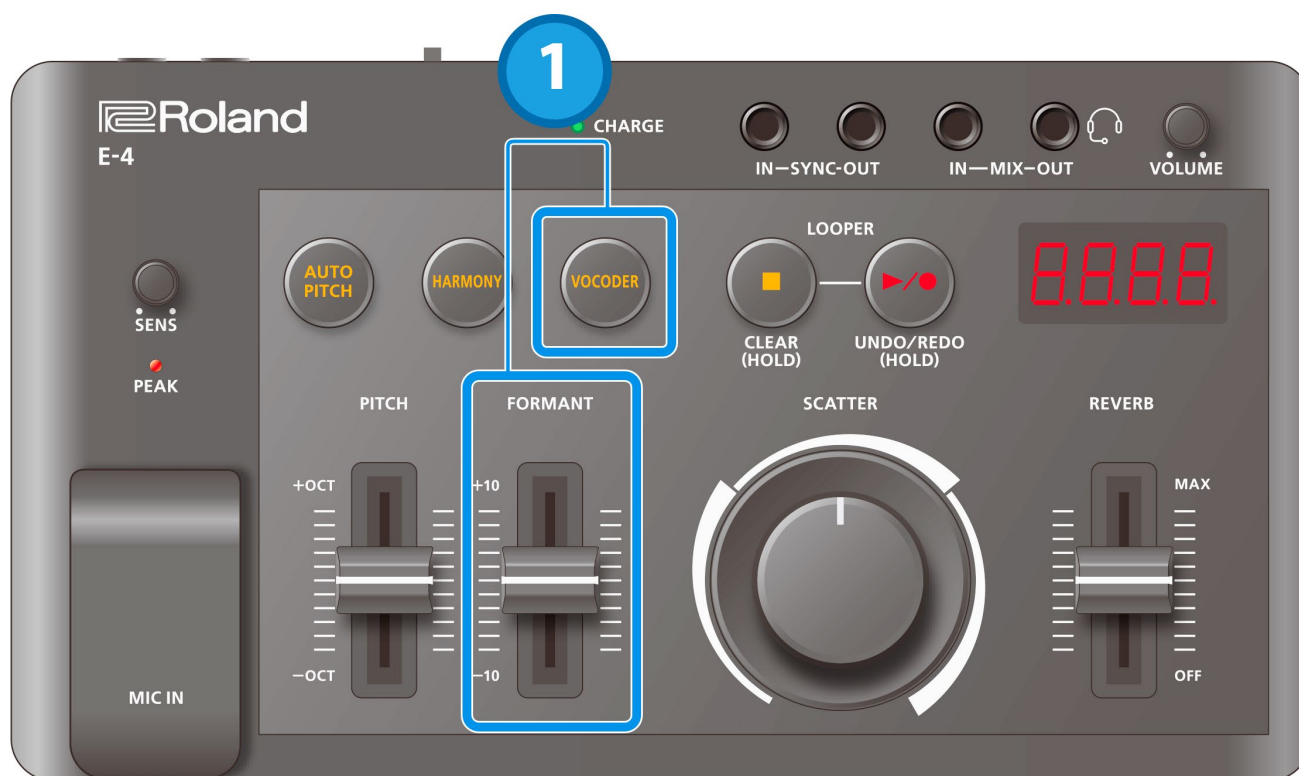


1. [VOCODER] ボタンを押して点灯させます。

VOCODER がオンになります。

キャリアの波形を設定する (WAVE FORM)

キャリアの波形を設定することで、倍音構成を変更します。



1. [VOCODER] ボタンを押しながら [FORMANT] スライダーを動かします。

設定値	説明
Saw2 (Saw2) ~ Saw49 (Saw49)	基音の少ないのこぎり波
Saw50 (Saw50) ~ Saw1 (Saw1) ~ Square49 (Square49)	のこぎり波
Square50 (Square50) ~ Square (Square) ~ Pulse49 (Pulse49)	矩形波
Pulse50 (Pulse50) ~ Pulse (Pulse) ~ Noise49 (Noise49)	パルス波
Noise50 (Noise50) ~ Noise (Noise)	ノイズ

和音を付加する (HARMONY)



1. [HARMONY] ボタンを押します。

[HARMONY] ボタンを押すことで、キャリアのボイス数を増やすことができます。

また、キャリアのボイス数と同様にキャリアのピッチも設定することができます。

キャリアのピッチを固定する

- ピッチを補正する (AUTO PITCH) (P.9)

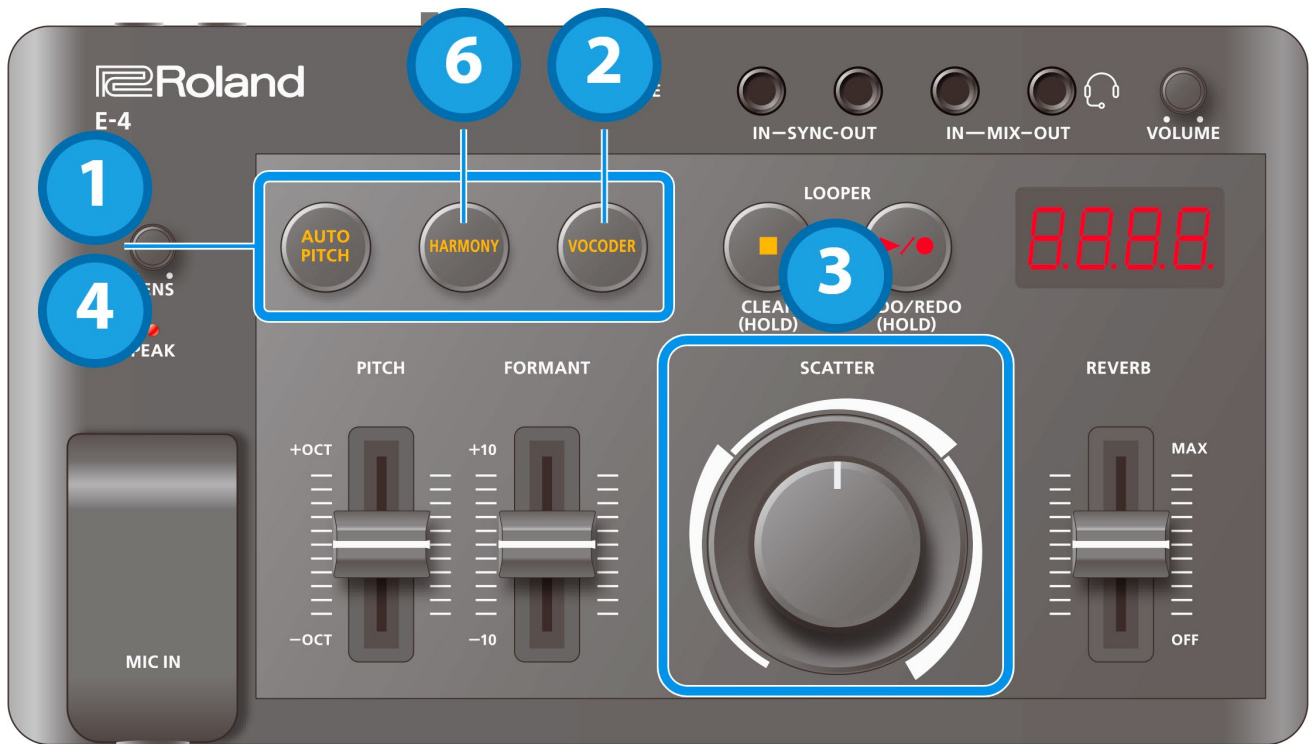
和音のタイプを設定する

- ハーモニーのタイプを設定する (HARMONY TYPE) (P.15)

和音のキーとスケールを設定する

- ハーモニーのキーとスケールを設定する (KEY、SCALE) (P.14)

外部機器でボコーダーを操作する (KEY IN)



1. [AUTO PITCH] ボタンと [HARMONY] ボタンと [VOCODER] ボタンを同時に長押しして、メニューに入ります。
 2. [VOCODER] ボタンを押して点灯させます。
[KEY IN] が表示されます。
 3. [SCATTER] ダイアルで外部機器の MIDI チャンネルと同じ値に設定します。
 4. [AUTO PITCH] ボタンと [HARMONY] ボタンと [VOCODER] ボタンを同時に長押しして、MENU を終了します。
 5. 外部機器や USB 経由で MIDI NOTE と PITCH BEND を入力します。
VOCODER の演奏ができます。
 6. [HARMONY] ボタンを押して点灯させます。
最大 4 ボイスの和音を演奏することができます。
- * 外部 MIDI 入力時は [AUTO PITCH] ボタンが点滅します。

ルーパーの使いかた

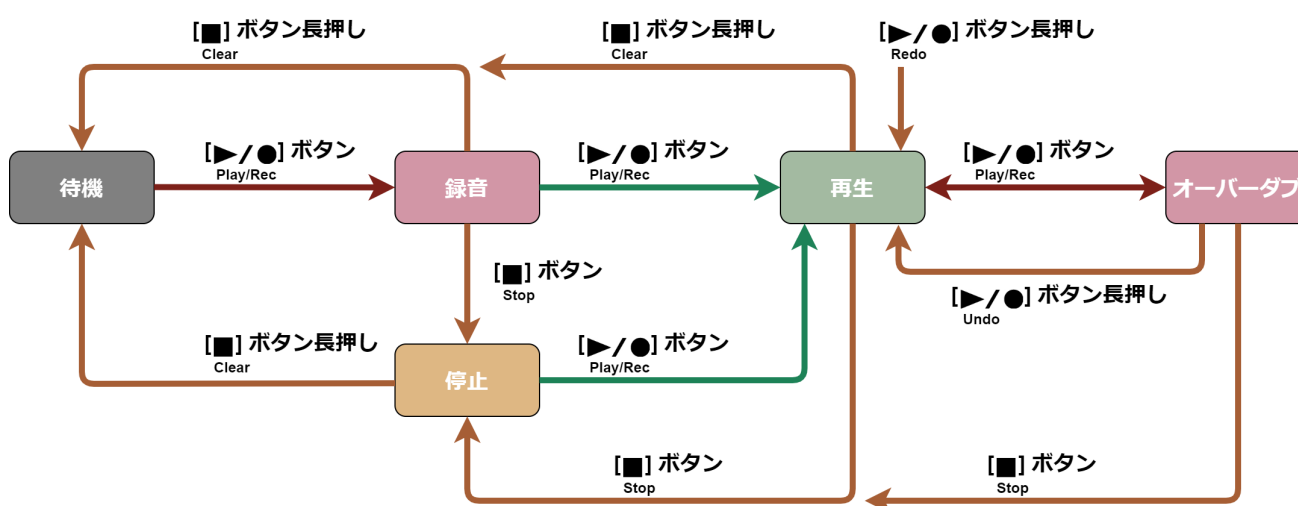
ルーパーとは、演奏やマイクの声を録音して、それを繰り返し再生しながら重ねて録音（オーバーダブ）／再生する機能です。

「録音」と「オーバーダブ」

本書では、空のトラックに最初に録音することを「録音」、録音した音にさらに音を重ねる 2 周目以降の録音を「オーバーダブ」と呼びます。

ボタンの光りかたやディスプレイの表示でルーパーの状態を確認することができます。

状態	■ (停止) ボタン	▶/● (再生／録音) ボタン	ディスプレイ
待機中	消灯	消灯	
録音／ オーバーダブ中	消灯	点灯 (赤)	REC
再生中	消灯	点灯 (緑)	PLAY
停止中	消灯	点滅 (緑)	STOP
クリア			CLR (点滅)
アンドゥ			UNDO (点滅)
リドゥ			REDO (点滅)



外部機器のマスターとしてルーパーを使う（内部クロックで使う）

入力した音声を録音する



1. 【▶/●】（再生／録音）ボタンを押します。

ボタンを押したタイミングで録音が始まります。すでに録音されているときは再生が始まります。

録音またはオーバーダブ中はディスプレイに「REC」と表示され、【▶/●】（再生／録音）ボタンが赤く点灯します。

2. 録音を終了するときは、もう一度【▶/●】（再生／録音）ボタンを押します。

そのまま再生が始まります。

録音終了のタイミングで内部 BPM（SYNC OUT のパルス、F8）が決まり、SYNC OUT クロックが頭出しされます。

再生中はディスプレイに「PLAY」と表示され、【▶/●】（再生／録音）ボタンが緑に点灯します。

再生中の音声を停止（待機）する



1. 再生中に [■]（停止）ボタンを押します。

ボタンを押したタイミングで再生が止まります。

ディスプレイに「STOP」と表示されます。

録音した音声を再生する



1. 1 回録音をして、停止させます。

→ 入力した音声を録音する

2. 停止中に [▶/●] (再生／録音) ボタンを押します。

押したタイミングで再生が始まります。SYNC OUT が頭出しされます (出す設定の場合)。

再生中はディスプレイに「PLAY」と表示され、[▶/●] (再生／録音) ボタンが点灯します。

録音した音声に重ねて録音する（オーバーダブ）



1. 停止中に [▶/●]（再生／録音）ボタンを押します。

再生が始まります。

[▶/●]（再生／録音）ボタンが緑に点灯します。

2. もう一度 [▶/●]（再生／録音）ボタンを押します。

押したタイミングで録音が始まります。

録音中はディスプレイに「REC」と表示され、[▶/●]（再生／録音）ボタンが赤く点灯します。

外部機器のクロックに同期してルーパーを使う

入力した音声を録音する



1. **▶/●** (再生/録音) ボタンを押します。

ディスプレイに「*rEC*」と点滅表示され、録音予約が入ります。

次に入るクロック入力のタイミングで録音を開始します。

録音またはオーバーダブ中は、ディスプレイに「*rEC*」と表示して、**▶/●** (再生/録音) ボタンが赤く点灯します。

2. 録音を終了するときは、もう一度 **▶/●** (再生/録音) ボタンを押します。

ディスプレイに「*PLAY*」と点滅表示され、録音終了の予約が入ります。

次に入るクロック入力のタイミングで録音が終了し、そのまま再生が始まります。

再生中はディスプレイに「*PLAY*」と表示され、**▶/●** (再生/録音) ボタンが緑に点灯します。

※ SYNC IN 端子に接続している場合は、**▶/●** (再生/録音) ボタンを押すと録音を開始します。

※ MIDI 端子や USB MIDI に接続している場合は、MIDI のスタートメッセージ (FA) を受けると同期を開始します。

再生中の音声を停止（待機）する



1. 再生中に [■]（停止）ボタンを押します。

ディスプレイに「stop」と表示され、次に入るクロック入力のタイミングで再生が止まります。

録音した音声を再生する



1. 1 回録音をして、停止させます。
2. 停止中に [▶/●] (再生／録音) ボタンを押します。

次のクロック入力があったタイミングで再生が始まります。

再生中はディスプレイに「PLAY」と表示され、[▶/●] (再生／録音) ボタンが緑に点滅します。

同期の種類によるルーパーの状態変化

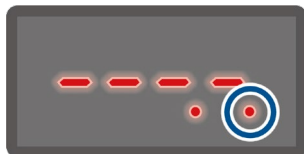
外部機器の接続方法によって同期の動作が異なります。

ボタンを操作したときの動作の違いは以下のとおりです。

操作	外部機器の接続方法		
	接続無し	SYNC IN 端子	MIDI 端子／USB MIDI
録音	離した際	離した際	予約
再生	離した際	予約	予約
停止	離した際	予約	予約
オーバーダブ	離した際	予約	予約
クリア	離した際	離した際	離した際
アンドゥ	離した際	離した際	離した際
リドゥ	離した際	離した際	離した際

クロックのタイミングを設定する

予約を開始するクロックのタイミングは、ディスプレイ右下のドットで表示されます。



1. [AUTO PITCH] ボタンと [HARMONY] ボタンと [VOCODER] ボタンを同時に押します。

メニュー・モードになります。

2. [FORMANT] スライダーで選びます。

設定値	説明
$1/8$ (1/8) 、 $1/4$ (1/4) 、 $1/2$ (1/2) 、 1 (1)	予約を開始するクロックのタイミングを設定します。

3. 終了するときは、[AUTO PITCH] ボタンと [HARMONY] ボタンと [VOCODER] ボタンを同時に押します。

* このクロックは同期する対象によって、同期を開始するタイミングが異なります。

外部 MIDI：外部機器をスタートしたタイミングで同期を開始します。

SYNC IN (トリガー)：録音ボタンを押したタイミングで同期を開始します。

録音した音声を消去する（クリア）



1. [■]（停止）ボタンを長押しします。

ディスプレイに「Clr」と点滅表示されます。

ボタンから指を離すと、クリアが実行されます。

オーバーダブを取り消す／元に戻す（アンドゥ／リドゥ）



1. **▶/●**（再生／録音）ボタンを長押しします。

ディスプレイに「Undo」または「Redo」と点滅表示されます。

ボタンから手を離すとアンドゥ（リドゥ）が実行されます。

録音した音声を先頭から再生し直す（リスタート）



1. 再生中に、[■]（停止）ボタンを押しながら[▶/●]（再生／録音）ボタンを押します。

録音した音声の先頭に戻って、再生が始まります。

入力をステップごとに入れ替える (SCATTER)

「スキャッター」は、ループ再生をステップごとに入れ替え、さらに再生方向やゲート長を変化させることで、ループ再生にデジタル的なグルーブを加えます。



1. [SCATTER] ダイアルを回します。

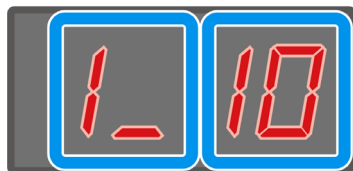
録音した音声分割して再生されます。

各スロットに設定したタイプが 10 段階で変化します。

各スロットのタイプを設定する

SCATTER の各スロットに、任意のタイプを設定することができます。

スロット 選択中の
番号 タイプ



操作	表示値	説明
[AUTO PITCH] + [SCATTER]	1_ 1 ~ 1_ 19	SLOT1 のタイプを設定します。
[HARMONY] + [SCATTER]	2_ 1 ~ 2_ 19	SLOT2 のタイプを設定します。
[VOCODER] + [SCATTER]	3_ 1 ~ 3_ 19	SLOT3 のタイプを設定します。



残響音を加える (REVERB)



1. [REVERB] スライダーで、リバーブのかかり具合を調節します。

OFF にすると、リバーブはかかりません。

リバーブ以外のエフェクトを使う



1. [VOCODER] ボタンを押しながら [REVERB] スライダーを動かして、エフェクトを選びます。

設定値	説明
<i>rub</i> (Reverb)	残響を付加します。
<i>Echo</i> (Echo)	やまびこのような音を付加します。
<i>dly</i> (Delay)	テンポに同期して声が繰り返されます。
<i>Cho</i> (Chorus)	ステレオ感を付加します。

メニューの設定



1. [AUTO PITCH] [HARMONY] [VOCODER] ボタンを同時に押します。

メニュー・モードになります。

2. ボタンやスライダーで、パラメーターを設定します。

詳しくは、下記のパラメーターをご覧ください。

3. メニュー・モードを終了するときは、もう一度 [AUTO PITCH] [HARMONY] [VOCODER] ボタンを同時に押します。

システム設定

項目	操作子	設定値	説明
USB OUT ROUTING	[AUTO PITCH] ボタン	MIX OUT、MIC IN (Mix Out、Mic In)	PC やタブレットの出力音声を MIC IN に入力するか (MIC IN) MIX OUT に入力するか (MIX OUT) を設定します。
FORCE HEADSET	[HARMONY] ボタン	Auto、Force (Auto、Force)	Force に設定すると、フロント・マイクの有無にかかわらず、ヘッドセット・マイクのみを使用します。
MIDI KEY IN	[VOCODER] ボタン	OFF、KEY IN (Off、Key In)	KEY IN に設定すると、ノート情報を入力したときにピッチを固定します。
MIDI THROUGH	[■] (停止) ボタン	OFF、THRU (Off、Through)	THRU に設定すると、MIDI IN 端子から入力した情報を、MIDI OUT 端子に出力します。

項目	操作子	設定値	説明
AIRA LINK (*1)	[▶/●] (再生/録音) ボタン	OFF、AIRA Link (Off、AIRA Link)	MX-1 等の AIRA LINK 対応機器と USB で接続する際に、AIRA Link にしてください。 それ以外の場合は OFF にしてください。 設定後、電源を入れ直すと有効になります。
MIDI CHANNEL	[SCATTER] ダイアル	Ch. 1 ~ Ch. 16	MIDI の送受信チャンネルを設定します。
SYNC CLOCKS	[PITCH] スライダー	1、2、3、4、5、8、12、24	1 拍の SYNC クロック数を設定します。
SYNC RATE	[FORMANT] スライダー	1/8、1/4、1/2、1 (1/8、1/4、1/2、1)	ルーパーの同期する周期を設定します。
MIDI CLOCK SYNC	[REVERB] スライダー —	Auto、Int、Midi、USB (Auto、Int、MIDI、USB)	どの同期信号に従って動作するかを設定します。 Auto (Auto) : 入力されたクロックを受け取ります。 Int (Int) : 内部クロックで動作します。 Midi (MIDI) : MIDI 入力のみ受け取ります。 USB (USB) : USB MIDI 入力のみ受け取ります。 * ただし SYNC IN 端子に外部機器が接続された場合は、強制的に SYNC IN 端子に入力されたクロックに同期します。

*1 : MX-1 の USB HOST3 端子以外で使用する場合には、バッテリー動作固定モードで起動します。バッテリー動作固定モードにするには [C] ボタンを押しながら電源を入れます。

MIDI 設定

機能	MIDI メッセージ	説明
ROBOT NOTE	Note On/Off	ボコーダーのピッチをノート番号でコントロールします。ノート入力中は [AUTO PITCH] ボタンが点滅します。 [HARMONY] ボタンが点灯しているときは、最大 4 和音のコントロールができます。
PITCH	Pitch Bend	[PITCH] スライダーの値をコントロールします。
SYNC	Timing Clock	テンポ情報に同期して、ルーパーをコントロールします。 [▶/●] (再生/録音) [■] (停止) ボタンを押すと再生や録音の予約をして、ディスプレイ右下のドットが点灯するタイミングで再生や録音を開始します。 このタイミングはシステム設定の SYNC RATE で設定します。

パソコンやモバイル機器と接続する

本機にパソコンやモバイル機器（スマートフォン、タブレット）を USB ケーブルで接続すると、オーディオ・データや MIDI データの通信をすることができます。

パソコンやモバイル機器への、デバイス・ドライバのインストールは不要です（本機は、USB Audio Device Class 2.0 に対応しています）。

本機とパソコンやモバイル機器との接続に USB ハブなどを経由すると、正常に通信できない場合があります。

充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

すべてのアプリの動作を保証するものではありません。

* Android 端末は、動作保証対象外です。

AIRA LINK モードを OFF に設定する

1. [AUTO PITCH] [HARMONY] [VOCODER] ボタンを同時に押して、メニュー・モードにします。
2. [▶/●]（再生／録音）ボタンを消灯させます。

ディスプレイに「OFF」が表示されます。

3. [AUTO PITCH] [HARMONY] [VOCODER] ボタンを同時に押して、メニュー・モードを終了します。
4. 電源を入れ直します。

パソコンを接続する

本機とパソコンを、USB Type-C - USB A（付属品）または両端が USB Type-C の USB ケーブル（付属品）で接続します。

モバイル機器を接続する

Lightning 端子の iOS デバイスの場合

本機をバッテリー動作固定モードで起動します。

1. [VOCODER] ボタンを押しながら電源を入れます。

バッテリー動作固定モードで起動します。

2. Apple 社が販売している USB アダプター（Lightning - USB カメラアダプタ、Lightning - USB 3 カメラアダプタなど）を使って、iOS デバイスの端子を変換します。
3. 本機と USB アダプターを、USB ケーブル（USB Type-C - USB A、市販品）を使って接続します。

* 市販の USB Type-C - Lightning 変換ケーブルは、使用できません。

USB Type-C 端子の iOS デバイスの場合

本機と iOS デバイスを、両端が USB Type-C の USB ケーブル（市販品）で接続します。

このとき、本機は iOS デバイスからの電源供給を受けることができます。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

E-4 を、工場出荷時の状態に戻します。

1. **【■】（停止）** ボタンを押しながら、電源を入れます。

▶/●（再生／録音）ボタンが点滅します。

ファクトリー・リセットを中止するときは、電源を切ります。

2. **▶/●**（再生／録音）ボタンを押します。

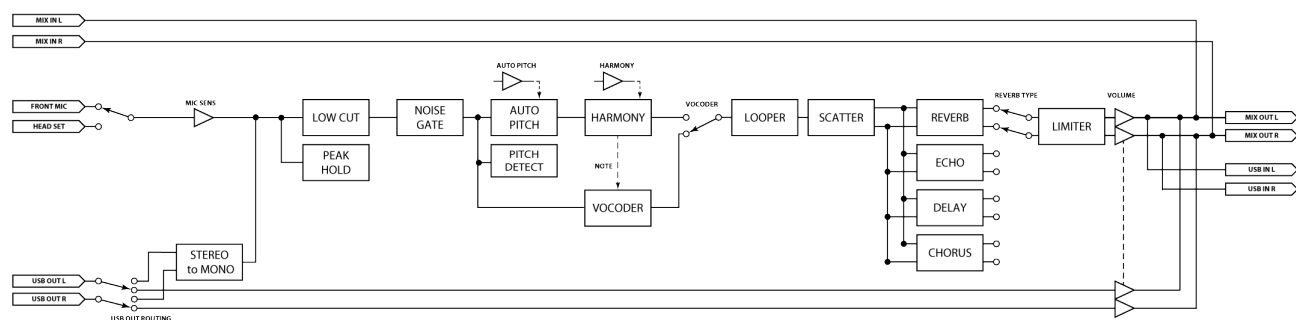
ファクトリー・リセットが実行されます。

3. すべてのボタンが点滅したら、E-4 の電源を入れ直します。

主な仕様

エフェクトタイプ	AUTO PITCH HARMONY VOCODER PITCH FORMANT SCATTER REVERB LOOPER
最大録音時間	約 24 秒
ディスプレイ	7 セグメント 4 桁 (LED)
接続端子	SYNC (IN、OUT) 端子：ミニ・タイプ MIX (IN、OUT) / HEADSET 端子：ステレオ・ミニ・タイプ (ステレオ、CTIA) MIDI (IN、OUT) 端子：ステレオ・ミニ・タイプ MIC IN 端子：ステレオ標準タイプ USB 端子：USB Type-C® (オーディオ、MIDI)
電源	充電式リチウムイオン電池 USB 端子より取得 (USB バス電源)
消費電流	500mA
連続使用時の電池の 寿命	約 3.5 時間 * 使用状況によって異なります。
電池の充電時間	約 3 時間 * 充電にはパソコンなどの USB 端子、または市販の USB 電源アダプターが必要です (5V、500mA 以上)。
外形寸法	188 (幅) × 106.5 (奥行) × 41.7 (高さ) mm
質量 (電池含む)	290g
付属品	「はじめにお読みください」 チラシ USB Type-C to USB Type-A ケーブル 保証書

シグナルフロー図



MIDI インプリメンテーション・チャート

AIRA Compact

Date: Feb. 7, 2022

Model:E-4

Version 1.02

	Function	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	3	3	Memorized
	Changed	1-16	1-16	
Mode	Default	Mode 3	Mode 3	
	Messages	x	x	
	Altered	x	x	
Note Number		x	0-127	
	: True Voice	*****	0-127	
Velocity	Note On	o	o	
	Note Off	o	o	
After Touch	Key's	x	x	
	Channel's	x	x	
Pitch Bend		x	o	
Control Change		x	x	
Program Change		x	x	
	: True Number	*****	*****	
System Exclusive		x	x	
System Common	: Song Position	x	x	
	: Song Select	x	x	
	: Tune Request	x	x	
System Real Time	: Clock	o	o	
	: Start	o	o	
	: Continue	x	x	
	: Stop	o	o	
Aux Message	: All Sound Off	o	x	Transmitted: MIDI OFFLINE
	: Reset All Controllers	x	x	
	: All Notes Off	x	x	
	: Omni Mode Off	x	x	
	: Omni Mode On	x	x	
	: Mono Mode On	x	x	
	: Poly Mode On	x	x	
	: Active Sensing	o	o	
	: System Reset	x	x	

E-4

01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

©2022 Roland Corporation